



Washington Japanese Language School
(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

2019 年 2 月 23 日発行 第 38 号

校長 佐藤 良明

はなみずき



mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

補習授業校で学ぶことの動機づけ

どこの補習授業校でもそうですが、学年が上がるにつれて児童生徒の数は減っていきます。特に、高等部を設置している補習授業校はどれも少人数です。例外なく真面目で優秀な生徒たちばかりです。それだけ自分の意思で補習授業校に通っているということの現われなのでしょう。



言うまでもなくアメリカは英語の世界ですから、現地校での生活を考えれば英語の方が大事です。したがって、高学年になればなるほど、「なんで土曜日にまで学校に通って日本語を勉強しなければならないのか。」「現地の友だちが楽しんでいる金曜日の夜に、どうして自分は補習授業校の宿題で苦しまなければならないのか。」という疑問や葛藤が当然浮かびます。そこで、やはり保護者の方から、その意義を示してあげていただきたいのです。それも、単に「日本人なんだから当たり前」「帰国したとき困るから頑張れ」という抽象的な言い方ではなく、補習授業校の意義や、将来の可能性を含めて具体的に説明してあげることが必要です。

日本語の読書や漢字を覚えることは、アメリカでの滞在期間が長くなればなるほど、子どもにとっては苦痛になってきます。そんなとき、子どもに日本語を学ぶ動機づけを与えてあげることが、極めて重要になるのです。

ニュージャージー補習授業校の卒業生たちは、答辞で次のように述べていました。アメリカで学ぶ児童生徒の一人でも多くが、いつの日か長年にわたる補習校生活を終了し、堂々と壇上でこのような答辞を述べられることを期待したいと思います。

「今までこの補習校で学んできたことは総てこれからの私の人生の肥料だと思います。まだまだ、芽は出て来ませんが、しっかり土の中で根を張ってきていると思います。自分の前には道がない。でも自分の後には、少しずつだけ歩んできた道ができています。」

「補習校生活を通して学んだことは、大きく分けて三つあります。一つ目は、友人の大切さです。様々な目的や理由で皆集まって来ていますが、共通していることの一つは日本語の勉強です。そんな環境の中で面白いクラスメートが集まっていて、意見や自己主張がぶつかり合い、友達も増え、自分の感受性もさらに豊かになれたような気がします。二つ目は、日本人としての誇りと自己認識が高まったことです。日本を様々な面から勉強することによって、日本人であることが誇りに思えるようになりました。日本の文化や文学作品へのあこがれを抱くようにもなりました。三つ目は、柔軟性の高い思考ができるようになったことです。たえず二つ以上の文化にさらされることにより、日本とアメリカのそれぞれの長所を取り入れ、学び、より幅広い人間となれたことが大きな収穫です。」



「補習校は学問以外に、世間に対する視野を広げて、人生をどう生きていけばいいのかを考えさせてくれた。ただバイリンガルになるだけでなく、『世界人』として、グローバルイゼーションをし始めた世の中で、様々な文化をつなぐ架け橋として、異なった民族や他文化の個性を尊重して受け入れる大切さを補習校は教えてくれた。」「大変でした。だけど、最後まで頑張ってきて、本当に、本当によかった。」

【参考文献】「補習授業校の目的と役割」から一部抜粋 元ニューヨーク国際交流ディレクター 栗原祐司氏

2019 年度年間行事予定一覧

高校卒業生による学習ボランティア募集

本校を卒業した高校生を対象に、来年度の学習支援ボランティアを募集いたします。

本事業も取り組みを始めて2年目が終わろうとしています。これまで多くの卒業生に参加を得て、主に小学部低学年の学習支援に携わっていただきました。

1. 活動の特色

- ◆学校の要請に応じて、できる人が、できる時に、できることを支援します。
- ◆他人から強制されるのではなく、自発的意思によって行われます。
- ◆先生や子ども達と一緒に活動し、学習の手助けします。
- ◆ボランティア自身の経験やこれまで学んだ日本語教育を活かす活動です。
- ◆この活動は、SSLのクレジットが取得できます。

2. 応募方法

本日、高等部2年生に募集要項と応募用紙を配付したので、希望される生徒は、「学習支援ボランティア活動申込書」に記入の上、直接先生に渡すか、メールにて、事務局に送信するかしてください。また、HPに掲載していますので活用ください。

〔保護者→各種手続き届出書→学生ボランティア活動申込書〕

提出期限は決めていませんが、随時受付をしています。



学校における携帯情報端末等の取扱い

携帯情報端末等の校内での使用は、原則禁止していますが安全確保その他、事情があって携帯情報端末等を持ち込みたい場合は「携帯情報端末等携行同意書」を校長に提出することになります。HPでも掲載しておりますのでご覧ください。なお、通知は4月当初にお知らせします。

保護者→各種手続き→2019 年度携帯情報端末等携行同意書

提出期限 平成31年4月27日厳守

『携帯電話（スマートフォン）、タブレット端末やパソコン（以下、携帯情報端末等）は、学校生活には必要ないと考え、校内での使用を原則禁止しています。』

1. 携帯情報端末等は、先生の許可なく使うことはできません。
2. 携帯情報端末等は学校内ではスイッチを切ります。
3. 教室以外の場所（廊下・階段、他の教室等）で使うことはできません。ただし、高校生に限り、空き時間、会議室内での使用を認めます。
4. 昼食・昼休みの使用は禁止します。
5. 携帯情報端末等の使用については、情報モラルを守り安全な使い方をしましょう。（ネットいじめ、迷惑メール、有害情報等）【生徒指導マニュアル】より

前田純孝賞学生短歌コンクール

中高生の部

神戸新聞社賞 選者:佐佐木幸綱先生

「ブンブンとブランコ動く風がこぐ

まるで誰かを呼んでいるよう」

中学部1年 カルボスキー由莉香 さん

月	日	曜	行事等
4	7	日	前期始業式（着任挨拶）運営委員会 面談
	13	土	授業なし さくらまつり 参加（中学3年、高等部）
	14	日	授業日 入学式
	20	土	特別総会 訓練（所在不明者）
	27	土	避難訓練（不審者対応）職員会議
5	4	土	運営委員会 職員会議
	11	土	授業参観・学級懇談会 特別授業
	18	土	個人懇談①（希望） 避難訓練（トルネード対応）
	25	土	個人懇談②（希望）
6	1	土	個人懇談③（希望） 運営委員会
	8	土	職員会議
	15	土	校長との座談会①（予）
	22	土	運動会練習開始
	29	土	
			夏季休業日
8	24	土	運営委員会 職員会議
	31	土	個人面談予備日
9	7	土	避難訓練（火災） 運営委員会 職員会議
	14	土	運動会予行
	21	土	運動会
	28	土	運動会予備日
10	5	土	前期終業日 運営委員会 職員会議
	12	土	後期始業式
	19	土	授業参観 年次総会 中高説明会
	26	土	授業参観 漢字検定
11	2	土	授業参観 運営委員会
	9	土	授業参観
	16	土	授業研究会
	23	土	教育講演会
	30	土	休業日（感謝祭）
12	7	土	運営委員会 職員会議
	14	土	校長との座談会②（予）
	21	土	
			冬季休業日
1	11	土	運営委員会 職員会議
	18	土	小学部1年生入学説明会 教職員面談
	25	土	幼稚部入学説明会
2	1	土	運営委員会 職員会議
	8	土	
	15	土	校長との座談会③（予）
	22	土	職員会議
	29	土	
3	7	土	運営委員会 職員会議
	14	土	幼稚部卒園式
	21	土	修了日 卒業式（小6、中3、高2）

